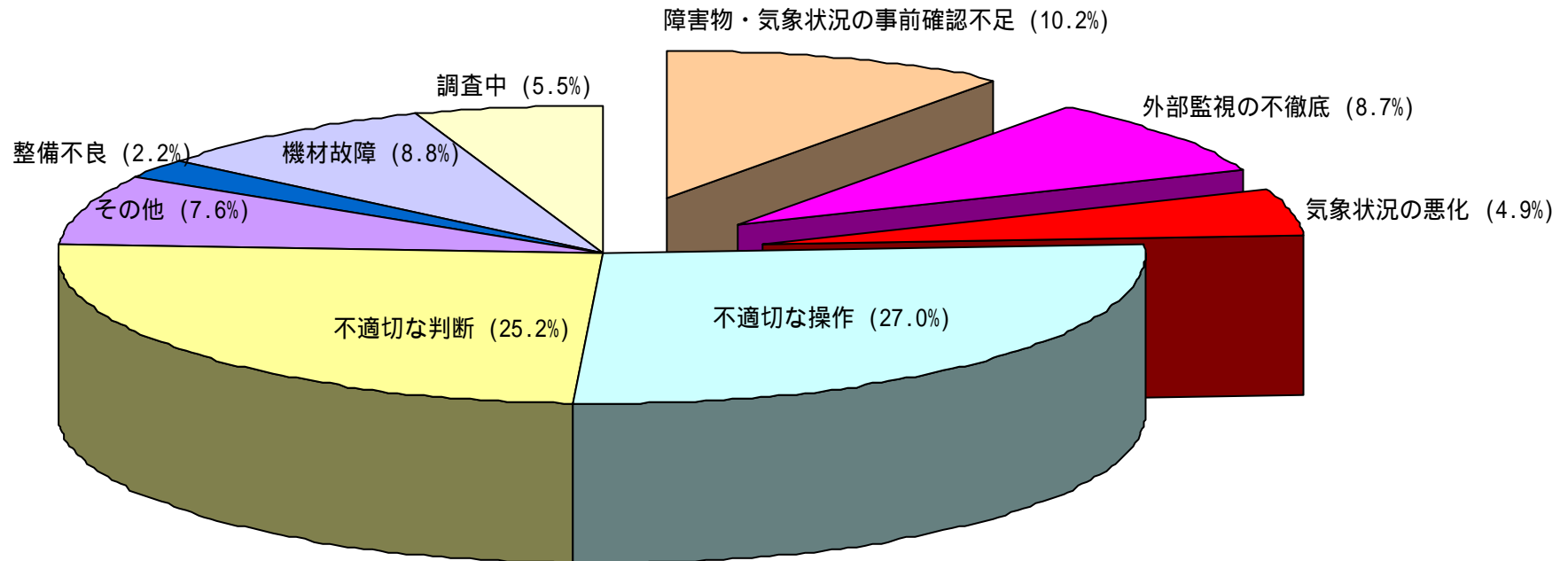


小型航空機の航空事故原因別比率（1991年～2000年）

小型航空機及びヘリコプターの航空事故のうち、「障害物・気象状況の事前確認不足」、「外部監視の不徹底」及び「気象状況の悪化」を原因とする航空事故については、必要な情報を積極的に提供することにより、更なる削減を図ることが可能になると考えられる。



(注)(1)出典：平成13年度に開催された「小型航空機の安全運航に関する研究会」の資料より作成。

(2)小型飛行機：最大離陸重量が5,700kg以下の飛行機で超軽量動力機を除く。